

インターポート

兵庫教育文化研究所だより

No.251

2026年9月28日

発行所 兵庫教育文化研究所
〒650-0004

神戸市中央区中山手通 4-10-8

満蒙開拓平和記念館に行ってきました。（平和教育部会）

- 平和教育をやりよう！と思うとき、みなさんは何をしようとし、何が理由で悩んだり躊躇されたりするでしょうか。「子どもたちには、難しい？」、「どの立場で考えさせたらいいかがわからない」、「よく知らないことを教えるのがこわい」。実は私たち所員も、まったく同じ思いです。自分の勉強不足を感じることもあり、「いっしょに学ぶ」仲間がいることに感謝しながら活動をしています。
- というわけで、行ってきました！『満蒙開拓平和記念館』。「満蒙開拓のはじまりと現在」を多面的に解説し、被害・加害・加担について考えることができる記念館です。（協力研究所員の三沢亜紀さんが事務局長）
- フィールドワークのよさは、まさに本物にふれることができる、肌で感じることができるという点です。特に、今回は、『乙女の碑』と碑文について、遺族会長の藤井宏之さんご夫妻に案内いただいたこと、『満蒙開拓平和記念館』を三沢さんにガイドしていただいたことは、本当に貴重な体験でした。



← 一見すると何のための碑かわからない。一番大きな碑の後ろに『碑文』が作られました。



↑ 『乙女の碑』の前で猛暑の中、いきさつを語ってくださった藤井宏之さん

2026年夏のフィールドワーク

1日目

★『杉原千畝記念館』

岐阜県加茂郡八百津町。杉原千畝生誕地です。

★『乙女の碑』と碑文

岐阜県加茂郡白川町黒川。ドキュメンタリー映画『黒川の女たち』、監督松原文枝著『刻印』に詳しい。何の解説もない『乙女の碑』に、訪れた人の誰もが読めばわかる解説をと練られた碑文は、被害・加害・加担の視点を含みながら、だれも戦争という害を被ることがないようにという願いがこめられています。

★『棕鳩十記念館』

棕鳩十といえば国語教科書で学んだという人が多いはず。落ち着いた雰囲気 of 図書館に併設されたミュージアムです。各地域の作品を使った教育実践も寄せられており、兵庫のものもありました。

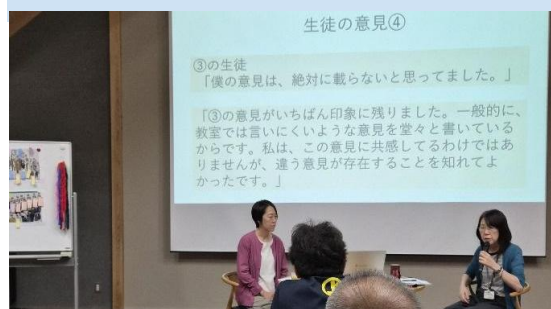
2日目

★『満蒙開拓平和記念館』

満蒙開拓の歴史的な経緯と、人権が脅かされるということがいかなるものかを、証言者の語りを中心に教えてくれるミュージアムです。

今、平和教育を推進する側の私たち教員は、いつまた戦争に加担する側にかりたてられるかわからない、もしかして、すでに？そんな危機感を感じます。

↓『満蒙開拓平和記念館』で定期的におこなわれる「土曜セッション」に元研究所員の比嘉美智子さん（左）が登壇。平和教育実践についてワークも取り入れながら紹介されました。（右は三沢さん）私たち研究所員、協力研究所員の村上さん、事務局の竹内さんもワークに参加しました。小学生から80代の方まで、本当にさまざまな立場の方が同じテーマで平和について考え、意見交流する貴重な時間でした！



実践交流集会、教研などで皆さんと語り合えるのを楽しみにしています！

☆平和教育はまず知ることから。いっしょに学びましょう。

はじめて出合った『言葉』や『興味をもったこと』があったらぜひ調べてみてください。